

意識から変える

経済学部国際経済学科 井上慶太
(鳥取県立 東高等学校出身)

1年生のときから、数年後の進路を考えて行動できている学生がどれだけいるでしょうか。私は上級キャリアコースに参加したおかげで、入学直後から自分の意識の低さを見つめ直すきっかけが得られたように思います。では、意識が高いとはいかなることを意味するのでしょうか。私は、どんなに些細なことや一見どうでもいいと思えることについても責任ある行動を採ることではないかと思っています。

例えば、上級キャリアコースに入るためには、事前に同コースのHPを隅から隅まで読むことが求められます。そこには、体育会のノリで厳しい指導が行われること、目標達成に向けて仲間と協力できる高いコミュニケーション能力が求められること、勉強最優先であることなどが明記されていますが、仮にこれらを十分に読まずコースへ参加することになったとしましょう。そして、あなたは「家の用事があるので講義を欠席したい」と先生にいったとします。あなたの意識は明らかに低いです。コース学生としては失格です。

勉強最優先であると書いてあるのに、なぜ家の用事を優先しているのでしょうか？ また、あなたの行動がチームの雰囲気悪くするとは思わないのでしょうか？ 恐らくあなたは、「ちょっとくらいええやろ」とか「みんなこれくらいやるやろ」と思っていたのかもしれませんが、それを意識が低いというのです。そして、その意識の低さが今現在のあなたを作り上げたとは思いませんか？

上でも触れましたが、高校までの私も意識の低い人間でした。結果、これといった取り柄もなく、自慢できることもありませんでした。ですが、コースでの厳しくも情熱的な指導を通じて高い意識を持てるようになりました。指導プロセスを簡単に紹介すると、まず時間厳守、無欠席、ミスを繰り返さないこと、講義に完璧に集中すること(少しでもよそ見をしたりすると、厳しく注意されます)という基礎的な部分を徹底指導されます。これらができるようになった後は、先回りした行動をするよう叩き込まれます。例えば、先生方に言われなくても、何をすべきかを自分たちで考え行動に移すということです。また、そうする際には、メンバー間での情報共有を徹底することが求められます。換言すると、メンバー間で相談・協力して解決できることを、いちいち先生に頼るなということです。これができるようになる頃には、細かな部分も含めてあらゆる方面に気遣いができる“意識の高い人間”になっているというわけです。

私は、この意識の高さを武器に、第1志望の大手企業への就職を実現することもできました。大学入学以前は、これといった成果もない自分でしたが、コースでの指導を通じて自分に自信が持てるようにもなりました。上級キャリアコースというと、勉強面が注目されがちですが、社会人基礎力についてもかなりしっかりと指導していることをお話ししたいと思った次第です。